

 **GRANCERA
SERIES**

グランセラトップ1液水性

F★★★★★

ホルムアルデヒド放散等級



外壁



水性



1液

GRANCERA TOP

水性1液セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料

グランセラTMトップ 1液水性

美しい
つや感

高い
耐久性

安心の
超低汚染性

防藻・
防かび性

 **NIPPON PAINT**
Basic & New



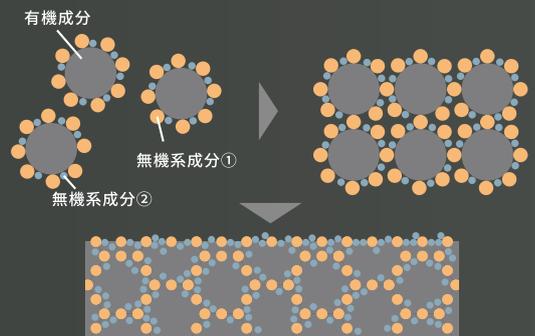
住まいの「美観」をまもり、「寿命」を延ばすハイグレード塗料
グランセラ™ トップ 1液水性

ラジカル制御技術とセラミックハイブリッド技術を融合。フッ素樹脂塗料を超える高耐候性、超低汚染性を誇るハイグレードの外壁用塗料です。

セラミックハイブリッド無機系塗料とは？

無機系塗料は紫外線に強く、高い光沢と燃えにくさが特長ですがその反面、塗膜が割れやすいという性質がありました。そこで無機の硬い部分（無機系成分①）と有機の柔軟部分をハイブリッド化することで「弾性」の性能が発揮されます。

さらに表層に配向した無機系成分②により、超低汚染性を発揮します。



塗膜形成イメージ図

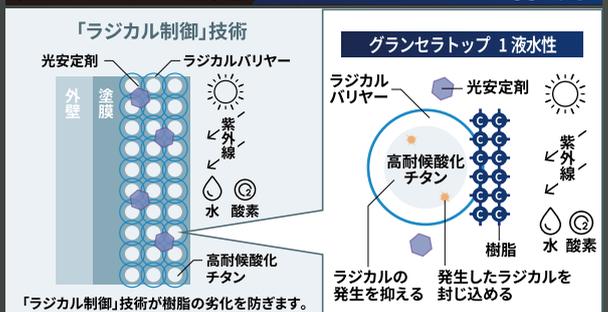
独自技術で紫外線から住まいをまもる、非常に優れた耐候性塗料

一般的な塗膜は、酸素や水とともに紫外線があたると顔料の主成分である酸化チタン内からラジカルが発生し、塗膜劣化を誘発します。そこで日本ペイントは、ラジカル発生を抑え、かつ発生したラジカルをバリアー内に封じ込める高耐候酸化チタンの活用技術を開発。さらに光安定剤の併用により、ダブル効果で優れた耐候性を発揮します。

● 上塗り塗料の耐候性のグレードレベル

塗料の耐候性には様々なグレードがありますが、ラジカル制御形塗料は住まいを長持ちさせる品質・性能をコストパフォーマンス良く享受するのが魅力です。グランセラトップ 1液水性はフッ素を超える高耐候性。長期的に見て塗装回数が減り、お住まいのメンテナンス費用削減につながります。

グランセラトップ 1液水性 ラジカルバリアーと光安定剤によるW効果



GRANCERA SERIES
 グランセラトップ 1液水性

PERFECT SERIES



アクリル樹脂塗料 ウレタン樹脂塗料 シリコン樹脂塗料 ラジカル制御形高耐候性塗料 フッ素樹脂塗料 ハイブリッド無機系塗料

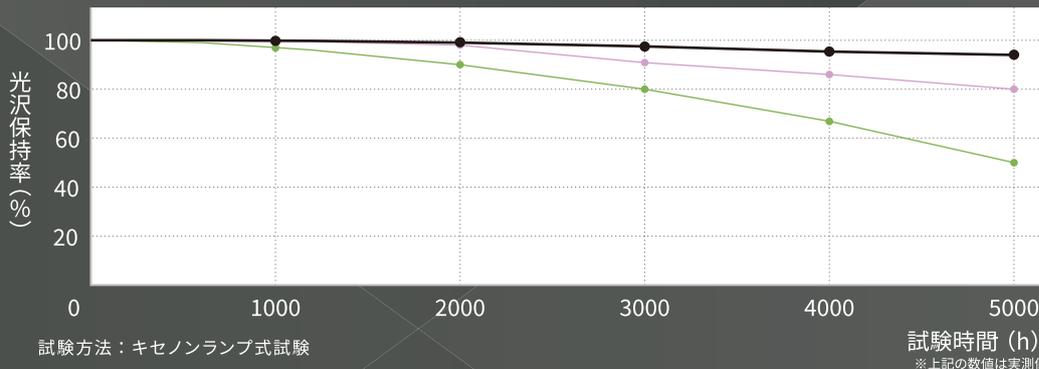


“6つの特長”で、外壁を美しくまもります

1. 優れた耐候性

グランセラトップ 1 液水性は、促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

促進耐候性試験



2. 美しいつや

グランセラトップ 1 液水性は、高いレベリング性により、つやが優れています。またつや有り・7分・5分・3分つや有り、およびつや消しと幅広く対応が可能です。

グランセラトップ 1 液水性 (つや有り)



当社一般低汚染水性塗料 (つや有り)



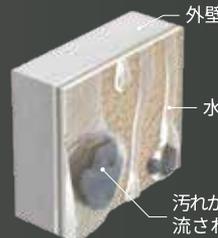
※上記はなみがた仕上げの塗膜画像 (色はND-184) です。仕様はパーフェクトフィラー+グランセラトップ 1 液水性です。

3. 超低汚染性

グランセラトップ 1 液水性は、「超低汚染性」(親水性機能) によって、建物外観に付着した汚れを雨とともに洗い流し、美観を維持することが可能です。

塗膜と汚染物質のモデル図

グランセラトップ 1 液水性
親水性膜
水に濡れやすい塗膜



親水性が高いと汚れが落ちやすい

防汚性試験



グランセラトップ 1 液水性



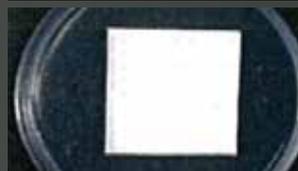
当社一般低汚染塗料

試験方法：当社規格による雨だれ強制汚染試験 (東京での暴露6か月経過時写真)

4. 強力防藻・防かび機能

従来オプションであった強力防藻・防かび機能が標準搭載になりました。藻・かびの発生を抑制し、建物の美観と清潔な環境をまもります。

防藻性能試験結果 (社内試験による)



グランセラトップ 1 液水性



当社一般防藻塗料

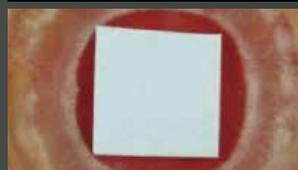
5. 透湿性

透湿性があるため塗膜の膨れやはく離を抑制します。

6. 弾性仕様

弾性タイプの主材 (下塗り) と組み合わせることで、外壁のひび割れに追従でき、各種弾性形塗料の塗り替えに適応できます。

防かび性能試験結果 (試験方法：JIS Z 2911 準拠)



グランセラトップ 1 液水性



当社一般防かび塗料

塗料性状・荷姿

| 塗料名 | 色相 | つや | 容量 |
|--------------------|----|------------------------------------|-----------|
| ニッペ グランセラトップ 1 液水性 | 各色 | つや有り, 7分つや有り, 5分つや有り, 3分つや有り, つや消し | 15kg, 4kg |

適用下塗りおよび中塗り塗料・適用下地

| | 適用下塗りおよび中塗り塗料 | 適用下地 | | | |
|-----|--|---|--|-----------------------|-------------|
| 内外壁 | パーフェクトフィルター パーフェクトサーフ タイルラック1液 EPO-Sベース | DANフィルターエポ DANタイル中塗りホワイト/Sホワイト ファイン浸透シーラー | ●モルタル面 ●窯業系サイディングボード | ●コンクリート面 ●ALC/パネル面 | ●各種旧塗膜の上 |
| | 水性パーフェクトシーラー ファインパーフェクトシーラー 1液ファインパーフェクトシーラー | | ●無機フッ素下地の高意匠サイディングボード (従来のモルタル、コンクリート面などにも塗装できます) | | |
| | パーフェクトプライマー | | ●付帯金属面 ●金属パネル外壁 | ●FRP ●亜鉛めっき | ●木部 ●アルミ |

乾燥時間

| | 5~10℃ | 23℃ | 30℃ |
|--------|-------|-------|-------|
| 塗り重ね乾燥 | 8時間以上 | 4時間以上 | 3時間以上 |

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

標準塗装仕様(塗り替え)

●モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

| 塗装工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 |
|--------|---------------------------------------|------|---------------------------|---------------|-----|-------------|------------------------------|
| 下地改修処理 | 下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 | | | | | | |
| 下地調整 | ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。 | | | | | | |
| 下塗り | パーフェクトフィルター | 1 | 0.20~0.45 | 4時間以上 | 水道水 | 3~8 | ウールローラー |
| | | | 0.50~0.90 | | | 1~5 | 砂骨ローラー |
| 上塗り | グランセラトップ 1液水性 | 2 | 0.14~0.17 | 4時間以上 | 水道水 | 2~5 0~10 | タイルガン はけ・ウールローラー・エアレススプレー |

●サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

| 塗装工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 |
|--------|---------------------------------------|------|---------------------------|---------------|-----|--------|---------------------|
| 下地改修処理 | 下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 | | | | | | |
| 下地調整 | ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。 | | | | | | |
| 下塗り | パーフェクトサーフ | 1 | 0.20~0.40 | 3時間以上 | 水道水 | 2~5 | はけ・ウールローラー |
| 上塗り | グランセラトップ 1液水性 | 2 | 0.14~0.17 | 4時間以上 | 水道水 | 0~10 | はけ・ウールローラー・エアレススプレー |

※フッ素及び無機コーティングした窯業サイディングボードの場合はファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

※ファインパーフェクトシーラーは夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りをするか、ペーパーをかけるなどしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

※カタログに記載している内容は一般的な環境下での施工を想定し記載しております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

施工上の要点と注意事項

※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。2. 番熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリル珪砂などの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥がれていることがあります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高熱型外壁」に塗装する場合は、番熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が発生することがありますので、最寄りの営業所などに相談ください。3. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装を避けてください。4. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。5. つや調整品では、塗り継ぎや補修つやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。6. 過剰希釈をするると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。7. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。8. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。9. 防藻・防かび効果も、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。10. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。11. 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。12. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。13. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。14. 乾燥後の塗膜についていた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭きず、せっけん水で洗浄してください。15. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。16. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。17. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははげなどではできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。18. 動物のけは、はげが固まったタリタリになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。19. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。20. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。21. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)・ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸込み箇所がある場合はその部分を増し塗りにしてください。22. 外壁(パネル面)にもご使用いただけますが、平滑(ワット)な面に塗装した場合、塗り継ぎむらの仕上がり不良に至る場合がありますのでご注意ください。23. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。24. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。25. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツト科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツト科学社製H1500シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。26. 表面のみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コロイドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。27. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において、巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンファイラー、ニッペ1材ファイラー#200)などで処理してください(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)を参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-C136
AZ241025T
2024年10月現在